

火渡りにそれぞれの願いをこめて 木津薬師火祭り開催

7月28日、木津の薬師堂で恒例の火祭りが行われ、たくさんの人たちで賑わいました。

辺りが暗闇に包まれ始めた午後7時すぎ、山伏姿の僧が境内に入場し、「メ切の儀」「放弓の儀」などの儀式が行われた後、人の背丈ほどのまきに点火。赤々と燃える炎は数メートルに昇り、火の粉は天高く舞い、読経の声と相まって幻想的な世界が創り出される中、無病息災を願い護摩木を火に投げ入れました。

下火になったところで、修行僧に続いて、集まった人達もそれぞれの願いを胸に秘め火渡りを行っていました。



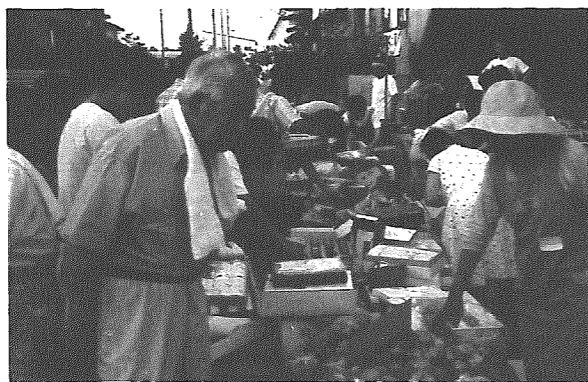
山伏姿の僧たちによる火渡り

地域とのぎくの家とのふれあいの場に ～第9回のぎく夏まつり開催～

7月26日、重度視覚障害者施設「のぎくの家」で夏まつりが行われました。

このまつりは今年で9回目を数え、午後6時に施設長の小野塚ティ子さんより「地域とのぎくの家とのふれあいの場としてこのまつりを皆さんで楽しんでほしい」と挨拶があった後、地元横越上の子どもたちによる郷土芸能、三味線や民謡などが披露され、大変盛り上がりしました。

また、木津地域公民館、ライオンズクラブ、連合婦人会、ボランティア二本木の会、横越中学生などのボランティアの方々による野菜市、金魚すくいなど、盛り沢山の出店があり、大変な賑わいでした。



盛況だったボランティアによる出店

横中生徒がボランティア活動 福祉施設で汗を流す

7月23日、デイサービスセンター、老人福祉センター、のぎくの家で、横越中学校の生徒によるボランティア活動が汗ばむ陽気の中行われました。

この活動は毎年行われているもので、当日はおよそ130名の生徒たちが参加し、引率の先生方の付添いのもとで、窓ガラス、ベット、車椅子磨きや草取り作業、のぎくの家夏祭りのチラシ配りに汗を流していました。

庭や窓などがとてもきれいになり、施設より大変感謝されていました。



車椅子をていねいに磨く生徒たち

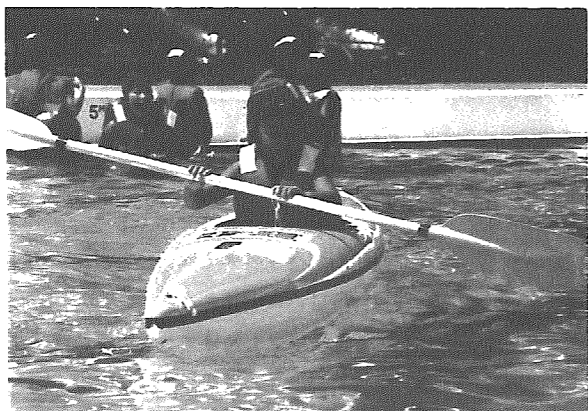
キッズスポーツ教室 元気な“ちびっこ”カヌーに挑戦!

キッズスポーツ教室が8月9日、町民プールを利用してカヌーの体験学習を開催しました。

生徒たちは、ライフジャケット(救命具)を身に付け、初めて体験するカヌーに少し緊張気味。体育指導委員やボランティア指導者からパドル(楫)の使い方、乗船の仕方などの指導を受け、いよいよ乗船。

なかなか思いどおりに進まないカヌーに四苦八苦、必死に挑戦していました。真夏のプールからは子供たちの元気な声が響いていました。

キッズスポーツ教室は、1、2年生の小学生を対象に毎月第2、第4土曜日に開催しています。



町民プールでのカヌー体験学習

新しい息吹きを水に 下水道

9月10日は、全国下水道促進デー

私たちの生活が文化的に便利になるにつれ、そこから生じる汚水(洗剤や油、ごみを含んだ生活排水など)は、湖沼・河川・海等公共用水域を汚し、そこに生きた動植物の生態を変えるなど、自然環境に大きな影響を与えています。

特に私たちの住んでいる亀田郷においては、近年の急激な都市化により鳥屋野瀉の水質汚濁が進み、大きな社会問題となっています。現在その水質浄化のため、新潟県及び流域三市町(新潟市・亀田町・横越町)では、多大な費用をかけて浄化対策に取り組んでいます。また環境基準に達しておらず根本的な対応策としての下水道の整備が急がれています。

進む下水道工事

これまでに下水道事業で整備された面積は二四八ヘクタール、下水道普及率は八三%になりました。しかし、処理区域全体から見

ると水洗化率は、七一%とまだまだ低く、せっかくの施設の有効利用が図られていない状況です。下水道事業には、町税として国・県からの多額の補助金や借入金、皆様からの受益者負担金で事業を実施していますので、整備した下水道施設は「みんなの財産」なのです。

供用開始区域内は 水洗化が義務

この施設の有効利用および環境改善のため、まだ下水道に切り替えていない世帯も、早めに排水設備を整えて下さい。くみ取り便所を使用している世帯は、三年以内に水洗化することが法律で義務づけられています。また、浄化槽を利用している世帯も、速やかに浄化槽を廃止し、直接下水道に接続して下さい。

ご利用下さい 排水設備の融資制度

町では、早期に下水道をご利用

流さないでください!

こんな物

下水道施設は、一刻も休むことなく働き続けています。でも、下水道は万能ではありません。下水道が、いつでも、自然にやさしく、皆さんの生活を快適にするために、下水道を正しく使って下さい。

そのためには、次のことにご注意ください。

○野菜くずや残飯は流さない

野菜くずや残飯などを流すとつまりの原因になります。燃えるゴミとして出すか、生

ゴミ処理器でたい肥にしましょう。



○デイスポーターは

使用しないで
台所の生ゴミをデイスポーター(粉碎機)で細かくして流しても、つまったり悪臭のもとになります。

○使えなくなった油は流さない

てんぷら油やサラダ油の廃油を流すと下水管の中で固まり、管をつまらせたり処理場の働きにも悪い影響をおよぼします。新聞紙・ぼろ布・油処理袋などに染み込ませて、燃えるゴミとして出しましょう。また、石けん作りに利用するのも良いでしょう。



○洗剤は粉石けんを適量使用

石けんは処理場の微生物にとっては大好きな食べ物。でも、合成洗剤は大嫌い。処理場の働きを低下させたり、泡立ちのもとになったりして処理場では完全に処理できません。粉石けんに切り替えましょう。

○水洗トイレは
トイレットペーパーは

水に溶けない紙(ティッシュペーパーなど)・紙おむつ・タバコ・ガム・髪の毛などを流すとつまりの原因になります。

下水道排水設備工事 責任技術者認定試験

- ▶受験講習会 11月5日(水)午後1時から
新潟市 プライダルステージ デュオ
受講料 5,000円
- ▶認定試験 11月16日(日)午前10時から
新潟市立明鏡高等学校
受験料 3,000円
- ▶申込み期間 9月8日(月)～19日(金)
- ▶問い合わせ 役場建設企業課下水道係

※ご不明な点、詳しいことは役場・建設企業課にお問い合わせください。